

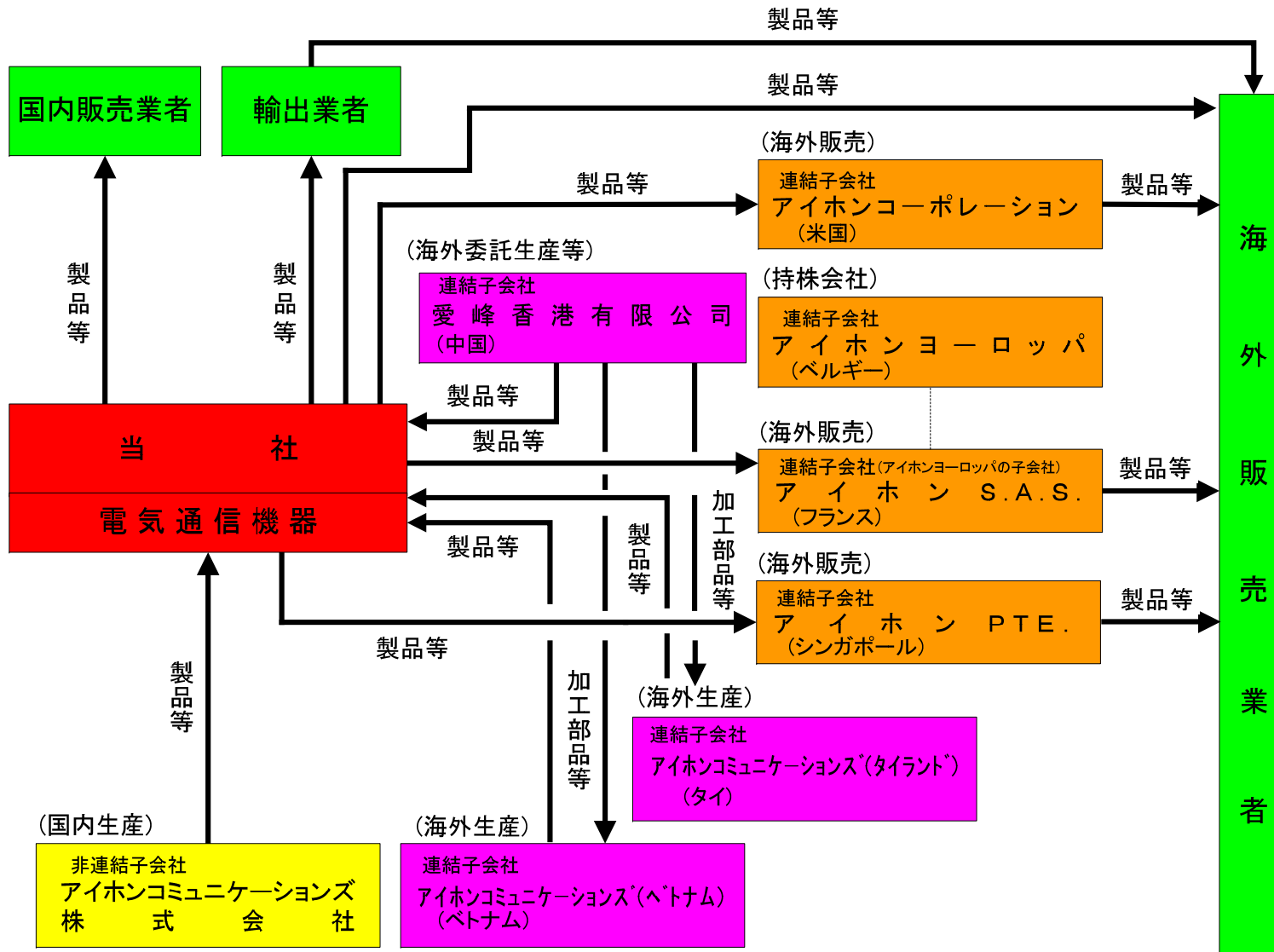
Communication & Security

< 2013年3月期中間決算 >

新しい安心をかたちに

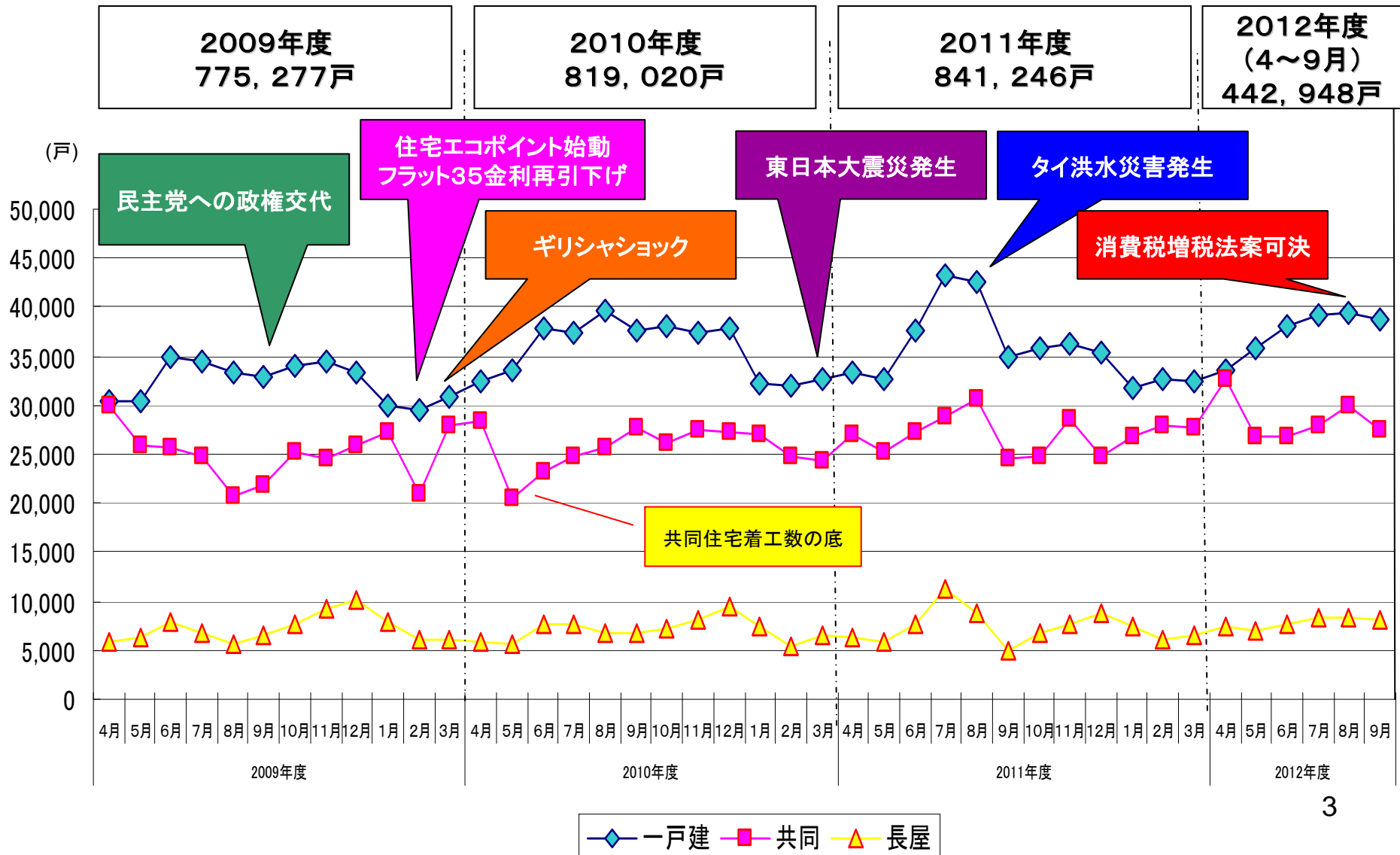
アイホン

企業集団の概要 (2012年3月現在)



市場環境【住宅市場】

月別新設住宅着工戸数の推移



連結經營成績

(單位: 百萬元)

	2013年3月期 中間	2012年3月期 中間	增減率
売上高	16,808	15,706	7.0%
營業利益	1,047	532	96.5%
經常利益	1,042	557	86.9%
当期純利益	507	296	71.1%

单独经营成绩

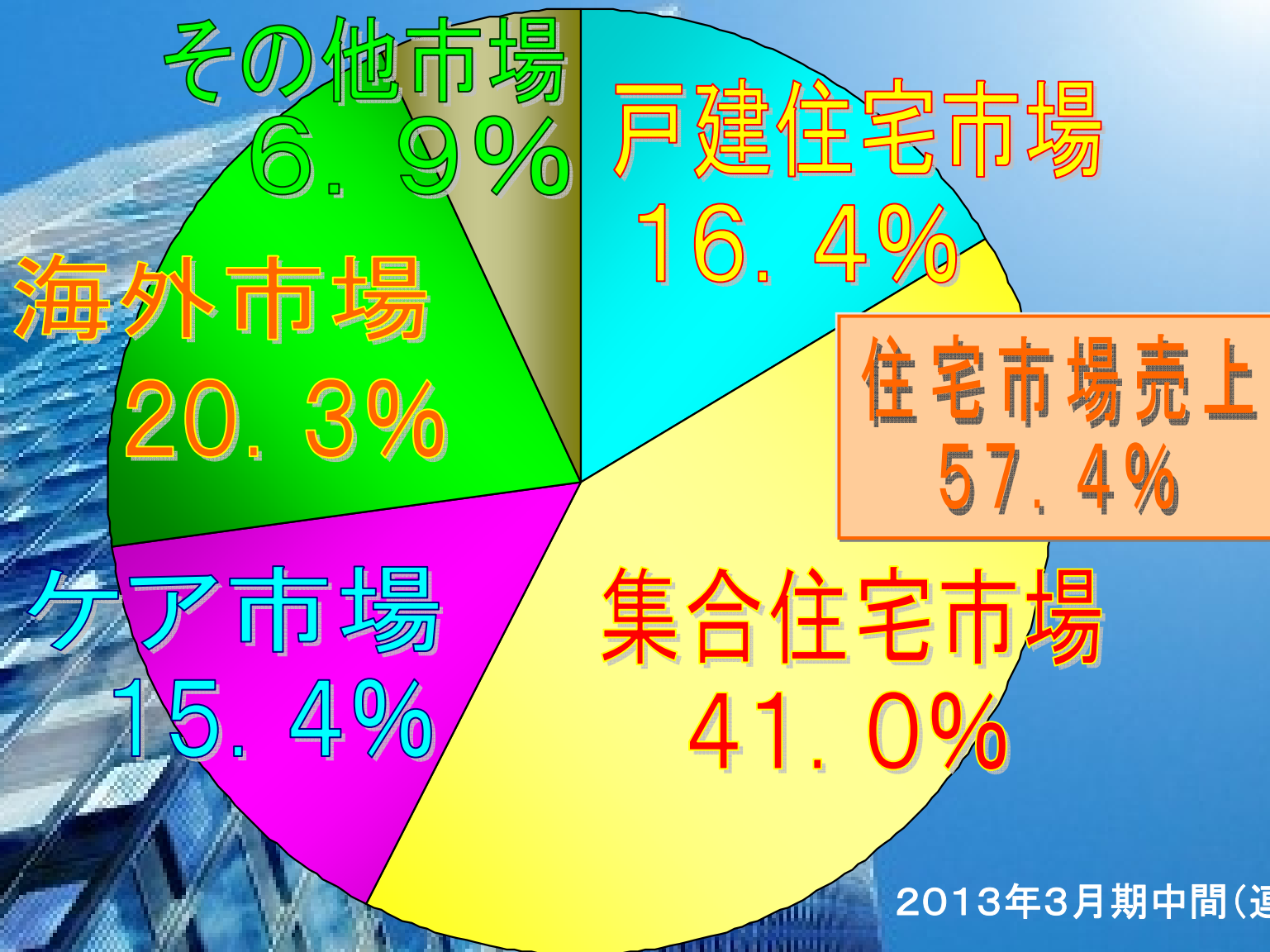
(单位:百万円)

	2013年3月期 中間	2012年3月期 中間	増減率
売上高	15,871	14,712	7.9%
営業利益	1,026	437	134.4%
経常利益	1,425	396	259.2%
当期純利益	946	187	403.8%



I. 2013年3月期中間の市場別売上

市場別売上高構成比(連結)



2013年3月期中間(連結)

戸建住宅市場

■ 売上のポイント

(百万円)

	2013年3月期中間	2012年3月期中間	増減率
戸建住宅市場	2,749	3,167	△13.2%

新築住宅市場

新設戸建住宅の着工戸数は前年同期と比較して増加。

大手ハウスメーカーに対し、ROCOワイドシリーズを積極的に提案した結果、販売金額が増加。

昨年の東日本大震災の影響による当社テレビドアホンの受注増加分をカバーできず、前年同期と比較して売上は減少。

リニューアル市場

ROCOワイドシリーズ等を家電市場へ積極的に提案し、1:1カラーテレビドアホンの販売台数が増加。

集合住宅市場

■ 売上のポイント

(百万円)

	2013年3月期中間	2012年3月期中間	増減率
集合住宅市場	6,896	5,520	24.9%

新築住宅市場

新設共同住宅着工戸数は前年同期と比較して増加。
OEM機器の販売台数が大幅に増加し、売上に貢献。

リニューアル市場

リニューアル対応商品や、主力地域への専任担当配置が効果を発揮し、売上は順調に推移。
狙いの管理会社との関係強化を推進。
大手管理会社へのリニューアル提案を強力に推進。
見積残の受注活動を積極的に展開した結果、売上が大幅に増加。

ケア市場

■ 売上のポイント

(百万円)

	2013年3月期中間	2012年3月期中間	増減率
ケア市場	2,591	2,367	9.5%

新築市場

「高齢者居住安定確保法」の改正により、「サービス付高齢者住宅」の登録制度が創設され、高齢者住宅物件数が増加し、売上を牽引。

リニューアル市場

既存病院の設備更新の予算化が前年よりも活発化し、病院の設備リニューアル件数が増加したが、売上は微増に終わる。

海外市場

■ 売上のポイント

(百万円)

	2013年3月期中間	2012年3月期中間	増減率
海外市場	3,415	3,492	△2.2%

北米市場

(千ドル)

2013年3月期中間	2012年3月期中間	増加率
20,831 (過去最高)	19,978	4.3%

IPネットワーク対応インターホン「ISシステム」や、集合住宅向けシステム「GTシステム」の売上が功を奏し、現地通貨ベースでは前期比4.3%の売上増加。

欧州市場

(千ユーロ)

2013年3月期中間	2012年3月期中間	増加率
12,052 (過去最高)	11,736	2.7%

「GTシステム」を積極的に提案し、現地通貨ベースで前期比2.7%の売上増加となったが、円高の影響が大きく、円ベースでは9.2%の売上減少。

海外市場


■ 売上のポイント

シンガポール市場		(千シンガポールドル)
2013年3月期中間	同左の計画	計画比
770	550	140%

2012年にアイホンPTE. を法人化。
販売実績は好調であり、当初の計画を上回る形で推移。

アジア・オセアニア市場		(千ドル)
2013年3月期中間	2012年3月期中間	増加率
3,694	4,650	△20.6%

「GTシステム」や「ISシステム」の積極的な提案活動を行ってきたが、
経済情勢の悪化により、売上は前年より減少。(今回より、シンガポールの売上除く)



Ⅰ. 2013年3月期の見通し及び当社の取り組み

戸建住宅市場

■ 今後の事業展開のポイント

新築市場

ハウスメーカーやビルダーに対し、ROCOワイドシリーズや、新商品「ROCO録画」を中心に仕様化・採用化活動を重点的に実施。

リニューアル市場

戸建リフォーム市場や家電市場へ、新商品「ROCO録画」を中心に積極的な提案活動を実施。

集合住宅市場

■ 今後の事業展開のポイント

新築市場

今年7月に新発売した「VIXUS」を中心に、大手デベロッパーへ積極的に提案、仕様化活動を強化。

設計物件の受注活動を重点的に実施。

リニューアル市場

新たなリニューアル引き合い見積の取得活動を積極的に実施。

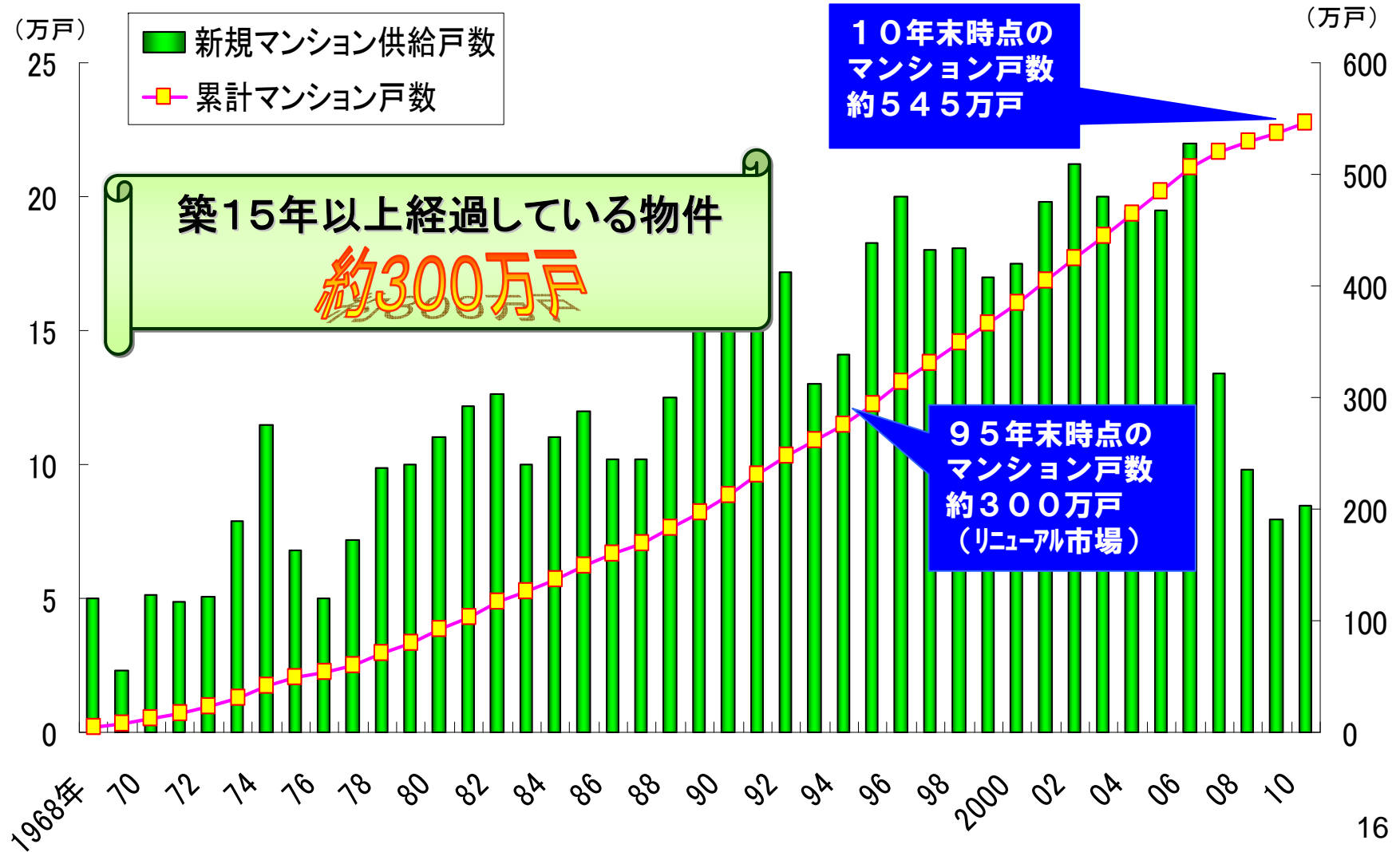
12月発売予定のリニューアル対応商品「らくタッチ」の積極的な提案活動を推進。

管理会社への営業活動の強化を継続実施。

集合住宅市場

リニューアル対象マンション戸数の推移

日本経済新聞記事を参考にアイホン(株)にて作成



集合住宅市場

リニューアル市場への取組みと売上推移

2000年

東京リニューアル営業所を設立

2003年

大阪リニューアル営業所を設立

2006年

横浜リニューアル営業所を設立

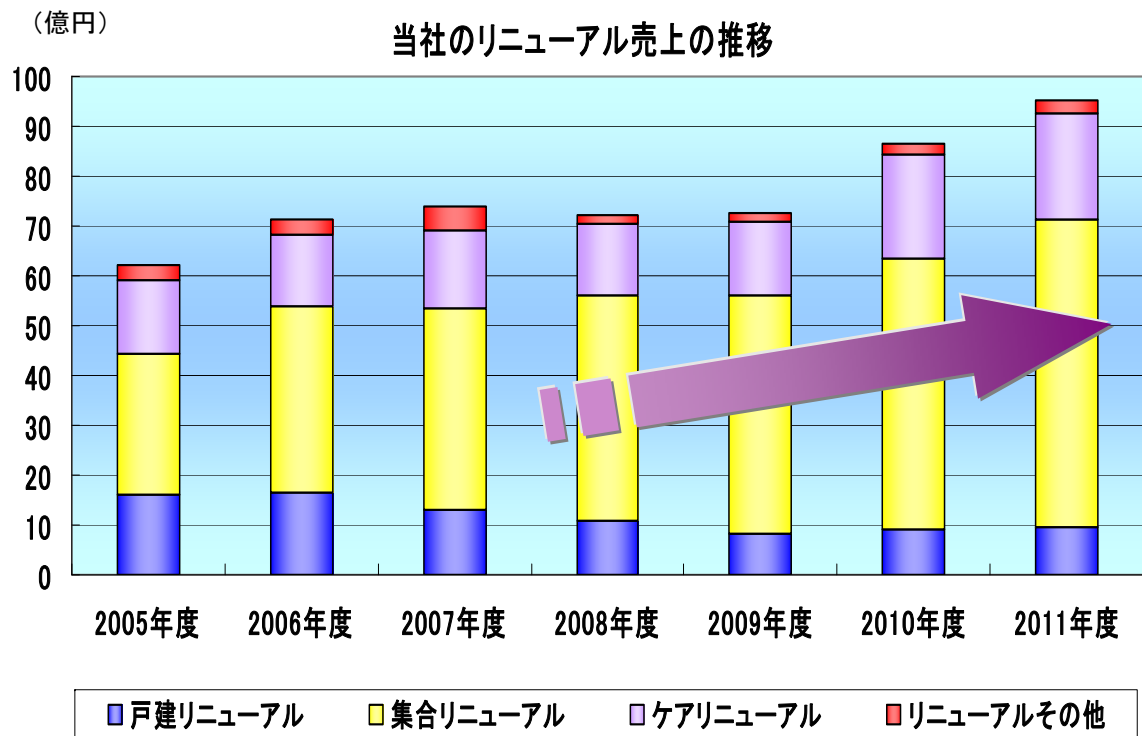
名古屋リニューアル営業所を設立

2010年

集合リニューアル推進部を設立

福岡リニューアル営業所を設立

リニューアル市場売上高
約95億円



集合住宅市場

リニューアル市場における重点施策

- ①アイホンリニューアルパートナーとの共同活動による管理会社への営業活動強化
- ②リニューアル対応商品の市場投入
- ③業界初の保守メンテナンス付きリース契約による顧客ニーズへの対応

ケア市場

■ 今後の事業展開のポイント

新築市場

厚生労働省が進める「地域医療再生基金政策」に伴い、病院の新築件数増加を期待。出件、実施設計物件への提案活動を強化。

「サービス付高齢者住宅制度」の創設により、需要の高まりが見込まれる高齢者住宅設備として、市場ニーズに応えた緊急通報装置等を積極的に提案。

リニューアル市場

ビジネスホンディーラーとの、高齢者施設へのリニューアルの提案活動を継続。

中核病院の設備リニューアルの提案活動を強化。

「サービス付高齢者住宅制度」の創設により、需要の高まりが見込まれる高齢者住宅設備として、市場ニーズに応えた緊急通報装置等を積極的に提案。

海外市場

■ 今後の事業展開のポイント

事業展開

北米・欧州ともに、新たに発売した「ISシステム」「GTシステム」を積極的に展開。

シンガポールでは、アイホンPTE. において、物件受注への取り組み強化。

中国では、上海駐在事務所において、デベロッパーへのシステム提案と販路の拡充。

為替

為替の急激な回復は期待できず、依然厳しい状況が継続。

海外市場

海外販売市場の開拓

駅



学校



新たな販売市場の拡大

住宅



病院



海外市場

海外販売市場の開拓

I 販売拠点拡充による受注活動の強化

- シンガポール駐在事務所の法人化
- 上海駐在事務所の開設
- 海外市場における物件受注活動の改革

海外市場 ～海外販売市場の開拓～

II 商品戦略



RETAIL SHOPS
Keep shoppers and employees safe. Secure delivery or backroom entrances with the ability to control access from the front of the store. Install at store fronts for use during lunch breaks or after hours.



FACTORIES
Connect stations over long wiring distances using the JM Series. Large factories or other oversized facilities can manage multiple entrances from any location within the building. Integrate CCTV systems to monitor parking areas, truck yards, or other remote locations.



SCHOOLS
Locking school entrances has become a number one priority. Maintain security by identifying visitors and unlocking doors safely and conveniently from the main office or principal's desk.

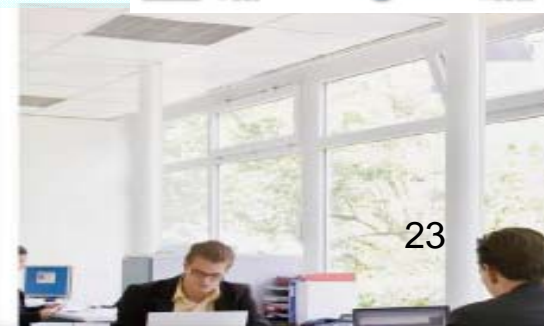


JMインターホンシステムの投入



SEE THE WHOLE PICTURE WITH THE JM SERIES DOOR STATIONS

Easily identify all visitors, regardless of height, with the JM Series wide angle camera.



2013年3月期業績予想(連結)

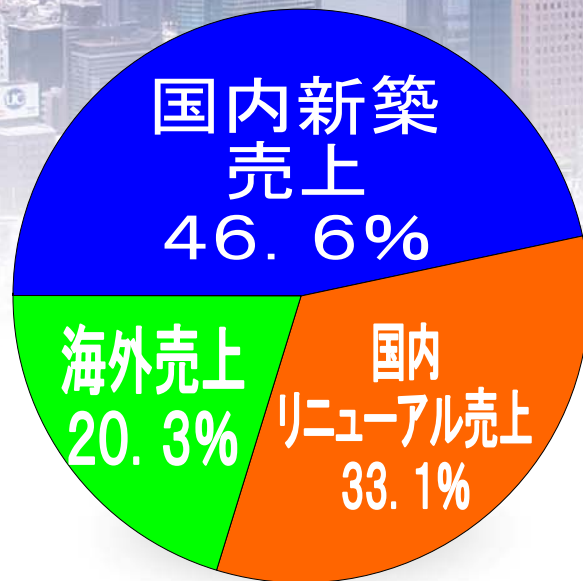
(単位:百万円)

	2013年3月期 予 想	2012年3月期 実 績	増減率
売上高	36,500	34,123	7.0%
営業利益	1,750	1,622	7.9%
経常利益	1,900	1,829	3.8%
当期純利益	1,000	594	68.3%

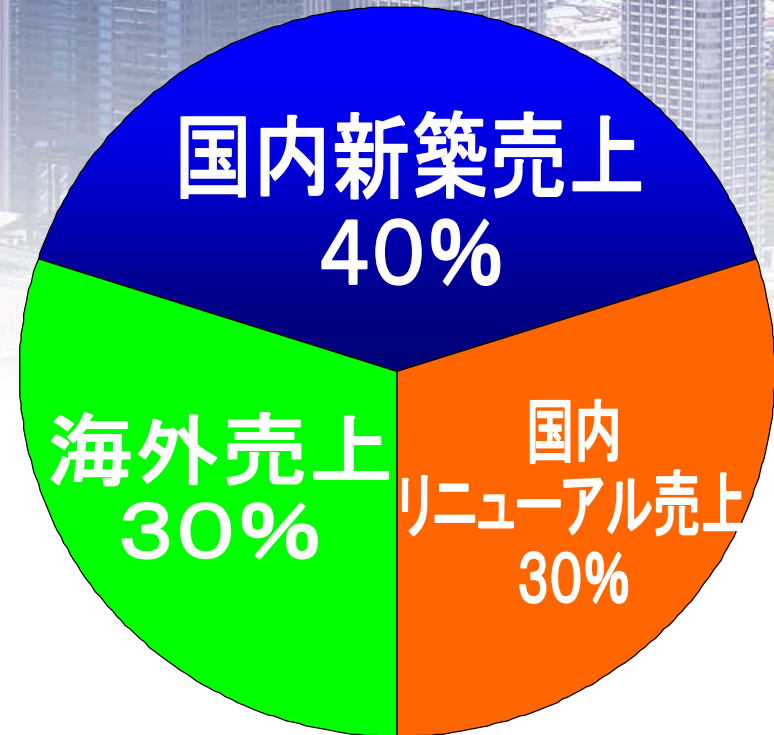
バランス経営

選択と集中

リニューアール市場と海外市場の売上を拡大するという**選択**
効果的な商品戦略や設備投資を各市場に**集中**



2013年3月期中間の
売上構成



目標とする売上構成

Communication & Security

END

新しい安心をかたちに

アイホン